



東 鍼 会 報

2012. 05 NO. 252 TŌSHIN KAIHŌ

発行
社団法人
東京都鍼灸師会
☎ 3985-7501
FAX.3985-7526
www.harikyu-tokyo.or.jp

2012.02.26 東京マラソン・ボランティア



「イエーイ！！」終了後に撮影

5月27日（日）平成24年度 通常（決算）総会開催
役員補欠選挙実施

立候補届出期間：平成24年4月13日～5月14日まで
（詳細は事務局まで）

✦ 事業日程表

5月

10	木	鍼灸臨床セミナー
13	日	青年女性部総会
19	木	保険予備審査
20	土	保険審査会
23	水	筋力アップ教室②
24	木	症例検討会
25	金	神経学会大会
27	日	理事会・決算総会
30	水	筋力アップ教室③
31	木	広報原稿締切（7月号）

6月

3	日	治療院見学会〔N代議員総会〕
6	水	筋力アップ教室④ 新入会員説明会
7	木	（レセプト締切）鍼灸臨床セミナー
10	日	〔全日学三重大会〕
13	水	筋力アップ教室⑤ 理事会
16	土	保険予備審査
17	日	保険審査会
20	水	筋力フォローアップ

24	日	〔N学術講習会・東鍼会共催〕
27	水	筋力アップ教室⑥
28	木	症例検討会

7月

1	日	〔N学術部長会議〕
4	水	筋力アップ教室⑦ 新入会員説明会
5	木	（レセプト締切）鍼灸臨床セミナー
8	日	〔N普及・広報・保険部長会議〕 〔N臨床研講師研修会〕
11	水	筋力アップ教室⑧ 理事会
14	土	保険予備審査〔N青年部長会議〕
15	日	保険審査会〔N組織・共済部長会議〕
21	土	保険取扱者講習会（前期）〔予定〕
22	日	〔N学術講習会・東鍼会共催〕
25	水	筋力アップ教室⑨
26	木	症例検討会
29	日	納涼懇親会
31	火	広報原稿締切（9月号）

※支部活動の掲載について――「支部活動の日時」本部が把握している範囲で掲載しています。早めのご連絡をお願いいたします。

※事業日程表への掲載は、事務局までご連絡ください。

（開始時間についてはご確認ください。）

新会長・副会長の選任報告

去る2月23日、かねてから療養中であった青木正雄会長が逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

3月11日、理事会及び予算総会が開催されました。以下のとおり新会長及び副会長が選任されましたので、ご報告いたします。

記

1. 正副会長の選任

会 長	高 田 常 雄 (新任)
副 会 長	伊 集 院 克
副 会 長	佐 藤 直 史 (新任)

2. 就任日

平成24年3月11日

総務部長 岩元 健朗

新会長就任のご挨拶



社団法人 東京都鍼灸師会
会 長 高 田 常 雄

平素から会員の皆様には社団法人東京都鍼灸師会事業にご協力、ご支援をいただき、感謝申し上げます。

さて、3月11日の理事会において理事の互選により、会長に推挙され、その後予算総会にて承認を頂きました。今後、東鍼会の理事の方々と力を合わせ、また、会員の皆様と共に、この不況の時代を乗り切っていく覚悟しております。

そして、長年ご指導を頂きました前会長の青木正雄先生が逝去され、また保険部事業を今日まで発展させて下さった保険部長の林久嗣先生が、健康上の問題により、理事を辞任されました。とても残念であります。

それにより、理事数の欠員ができ、事業の運営に大きな支障をきたすことになり、理事の補欠選挙を行うことになりました。任期は、来年の総会までとなりますが、東鍼会や鍼灸業界を思い行動力のある、熱い気持ちの会員の立候補を期待いたします。

平成24年度は、公益法人申請を成し遂げ、東鍼会として大きく前進していく年であります。普及・学術・保険などの各事業はもとより、都民・国民の方々に、より「はり・きゅう」が生活の一部になるような活動をしていなくてはならないと考えております。

この苦しい時期こそ会員皆様との強い団結が必要であり、団結することで新しい時代を切り開いていけると思います。

最後になりましたが、会員の皆様のご健康とご発展を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

役員候補者の届出について

このたび青木正雄会長の死去及び林久嗣理事の退任に伴い役員（理事）に欠員が生じたため、来る5月27日開催予定の平成24年通常（決算）総会において、役員候補者の補欠選挙を実施します。

この選挙にかかる候補者の届出について、下記のとおり告示します。

社団法人 東京都鍼灸師会
会長 高田常雄

記

役員候補届出に関する告示

役員選出に関する細則にもとづき、平成24年5月27日に施行する役員（理事）の補欠選挙について告示します。

- 選挙名
役員（理事）の補欠選挙
- 定数
2名
- 立候補届出期間
平成24年4月13日（金）から5月14日（月）まで
- 届出方法
立候補者は別紙「第1号様式」により届出（事務局まで提出）

平成24年4月2日

社団法人 東京都鍼灸師会
会長 高田常雄

* 詳細については、事務局にお問い合わせください。

新入会員のご紹介

組織部

部長 佐藤直史

【新入会員の紹介】

(平成24年3月26日現在)

氏名	住所	電話番号	ランク	支部
二階堂 貴子	〒184-0011 小金井市東町4-32-8 グリーンハウス101 二階堂治療院	042-316-1733	A	新宿
鈴木 良尚	〒177-0053 練馬区関町南3-8-6 鈴木鍼灸院	080-3385-3330	A	練馬
竹村 一也	〒131-0041 墨田区八広3-36-8-302	080-5178-0044	A	墨田

【住所その他の変更】

氏名	住所	電話番号	支部
林 百合子	(施術所名) 港区台場1-5-6-1309	03-5579-6830	豊島

【退会者のお知らせ】

氏名	ランク	支部	氏名	ランク	支部
竹沢 純	A	台東	桜井 秀彦	A	台東
長尾 あゆみ	B	杉並	小松 滋	A	八王子・日野
篠寄 猛	B	荒川	清水 眞子	A	新宿
青山 勝	A	町田	青木 正雄	A	大田
村上 有恒	A	豊島			

事務局 新規採用職員の紹介

「事務局保険担当として、3月1日より勤務させて頂くことになりました船木 逸郎(ふなき いつろう)と申します。以前に保険関係事務を行っていましたが、業務の進行の仕方は様々でした。少しでも早くこちらの業務に慣れて、会員の皆様にお役に立てる職員になれますよう一生懸命頑張りますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。」



船木 逸郎

※ 野呂田千尋は2月29日付をもって退職しました。(事務局)

議事抄録

総務部

平成24年1月 理事会議事録

◎平成24年1月11日(水) 19:10～21:20

◎日本鍼灸会館2F会議室

◇出席者 13名

(副会長) 高田常雄、伊集院克

(常任理事) 岩元健朗、一ノ瀬宏、有馬太郎、

佐藤直史、林久嗣、天野寛敏

(理事) 森野一巳、樋口陽一、呉仁隆、

横山季史、枝亮

◇同席者 3名

浦山久昌(監事)、仲田欣司(監事)、

山中事務局長

◎審議事項

1. 入会等審査について

◇佐藤組織部長より入会希望者2名、退会
申出者1名、変更2名、復会願1名につい
て説明。

<承認>

2. 平成24年度予算案について

◇一ノ瀬会計部長より説明。

○浦山監事：22年度の決算実績をもとにその年
の収入で賄えるように精査すべきである。

<さらに予算の削減を検討する>

3. 東鍼会新年会について

◇呉文化部会長より次第、出席予定者、収
支見積り等について説明。

<了承>

4. 専門学校優秀学生の表彰について

◇高田副会長より提案説明。

〔提案内容〕東鍼会表彰の卒業学生を対象に
会費を一年間免除し、特別会員として扱い、
東鍼会の先生方とのふれあいを通じた人材
育成とともに東鍼会への入会を誘う。

○佐藤組織部長：学生会員の制度との関連で、
例えば二年間なら二年間と決めて会費を安
くするような方法はどうか。

○樋口調査部会長：學術部の事業を手伝って
もらうような関わり方はどうだろうか。

○森野共済部長：むしろ使役させないで、自由
に参加できる会員とした方がよいように思う。

○横山青年女性部会長：来年度は学生交流会等
も予定しているので、青年部にそういう人
に入ってもらえればいろいろ助かる。

○伊集院副会長：最初の一年間に会の事業に関
わってもらい、しっかり引き止める工夫が
大事ではないか。

○佐藤組織部長：会費を無料にするのは反対だ。
やはり安くても会費を払うということは重
要なことだと思う。

○樋口調査部会長：卒業しても学生会員を一年
間延長できる方法はどうか。

○浦山監事：特典なのだから卒業後他県に行っ
ても日鍼会会費を少し東鍼会が負担するぐら
いにしないと制度として意味がないのでは
ないか。

○岩元総務部長：上位三名ぐらいを会費免除
で學術事業に参加してもらうのはどうか。

○高田副会長：要は将来に向けて人材を育て
たいという趣旨なので、少なくとも東京に残
る卒業生を東鍼会で面倒みてもよいのでは
ないかと考えているので、その方向で検討
させていただく。

5. 公開講座の実施について

◇有馬学術部長より3月4日に向けた準備
状況について説明。

<了承>

6. パソコンの購入について

◇岩元総務部長：管理の備品費からパソコン2
台の購入について提案。

<了承>

7. 東京マラソンについて

◇岩元総務部長：東京マラソンのボランティア
活動はこれまで10kmの参加であったが、今
年はフルマラソンになったので、理事の先

生には是非参加をお願いしたい。

<了承>

◎報告事項

1. 群馬県鍼灸師会の公益社団法人認定
2. 関東ブロック会議栃木大会の報告
3. 介護予防委託事業者選定結果
4. 第23回ふくし健康まつり参加報告
5. 支部長の変更報告
6. 保険審査報告
7. 各部報告
8. 会員名簿の作成報告

<すでに掲載されているメールアドレスについては何らかの方法で確認する>

平成24年2月 理事会議事録

◎平成24年2月8日(水) 19:15～20:50

◎場所 日本鍼灸会館 2F 会議室

◇出席者 16名

(副会長) 高田常雄、伊集院克

(常任理事) 岩元健朗、一ノ瀬宏、有馬太郎、
佐藤直史、林久嗣、天野寛敏

(理事) 森野一巳、樋口陽一、呉仁隆、青木マリ、
鹿野和彦、横山季史、枝亮、芝田武司

◇同席者 3名

浦山久昌(監事)、仲田欣司(監事)、
山中事務局長

◎審議事項

1. 入会等審査について

◇佐藤組織部長より入会希望者1名、退会申出者4名、変更5名、学生入会1名について説明。

<承認>

2. 平成24年度予算案について

◇一ノ瀬会計部長より支出予算を圧縮した旨説明。

◇高田副会長より都民公開講座についてブロック別に実施したい旨提案。

<了承>

また「24年度事業計画」の作成を依頼する

とともに、予算案の決定について諮る。

<了承>

3. 公益法人申請について

◇伊集院副会長より検討経緯・課題について説明。

<了承>

4. 支部長会の開催について

◇佐藤組織部長より2月29日午後7時より開催する旨説明。

<了承>

5. 東京マラソンボランティア参加について

◇岩元総務部長より東京マラソンへの参加方法及び事前研修会開催等について説明。

<了承>

6. 専門学校優秀卒業生の表彰願いについて

◇高田副会長より「学校法人・専門学校 首都医校」から優秀卒業生の表彰申請について諮る。

<承認>

7. 会員名簿の作成について

◇佐藤組織部長より印刷業者は「平文社」に決定及び支部長会の際に名簿確認する旨説明。

<了承>

8. 平成24年度筋力アップ教室の日程について

◇高田副会長より豊島区筋力アップ教室の日程及び実施について諮る。

<了承>

◎報告事項

1. 都民公開講座の準備状況
2. 日鍼会保障プランの勧誘
3. 新年会の実施報告
4. 保険審査報告
5. 各部報告
6. 日本神経学会学術大会

◎高田副会長：練馬支部の鳥海先生から「日本神経学会学術大会」が5月22日～25日にあり、東鍼会にも共催という形で参加して欲しいという話があったので了承した。

平成 24 年 2 月 支部長会議事録

◎平成 24 年 2 月 29 日 (水) 19:00 ~ 20:43

◎場所 日本鍼灸会館 2 F 会議室

◎出席者

◇支部長 (代理を含む) 20 名

足立：小宮秀樹、 荒川：関口知次、
 江戸川：関口直喜 (代)、 葛飾：小林潤一郎、
 台東：野呂信全、 大田：野村紀久夫、
 中央：井上リン、 港：藺田康敬、
 目黒：神原康幸、 渋谷：檜山巖、
 新宿：井坂卓司、 杉並：葛田直人、
 中野：増田照雄、 板橋：齊藤真一 (代)、
 豊島：土肥康子、 練馬：長岡栄子 (代)、
 文京：田中牧夫、 三多摩東：増田真彦、
 三多摩西：内野孝明、 武蔵野・三鷹：黒河内和明

◇理事・監事 18 名

(副会長) 高田常雄、伊集院克

(常任理事) 岩元健朗、一ノ瀬宏、有馬太郎、
佐藤直史、林久嗣、天野寛敏(理事) 森野一巳、樋口陽一、呉仁隆、青木マリ、
鹿野和彦、横山季史、枝亮、芝田武司

(監事) 浦山久昌、仲田欣司

◎司会 岩元健朗理事

<開会の前に黙祷>

◎開会の辞 伊集院副会長

◎会長代行挨拶 高田副会長

【審議】

1. 平成 24 年度事業計画案及び予算案について

◇高田副会長：事業計画案について説明。

◇一ノ瀬会計部長：収支予算案について説明。

○増田 (三多摩東)：青年部と女性部は統合したにもかかわらず、予算事業を分けている理由は何か。

○高田副会長：今回の予算は担当理事から出されたものを尊重し、そのまま載せてある。

○増田 (三多摩東)：青年部に総会経費があり

他方の女性部にはないなど、一つの部で予算が分かれているのはどうかと思う。中身の問題というより表記上の問題なので、まとめた方がよいと思う。

○神原 (目黒)：各支部の予算が削られているのは収入が少なくなっているからだろうが、削減の根拠を説明してほしい。

○高田副会長：それぞれの支部から出された予算額を理事会では全体を見て検討した結果でこのようになった。

○神原 (目黒)：旅費交通費は支部により削減されているところや逆に増えている支部があるが、その基準というものがあるのか。

○高田副会長：支給基準は変わっていないが、支部により活動する人数が違っているのでそれにより予算に増減があるため一律にはなっていない。

○神原 (目黒)：削減額が一律何%とか決まっているのであれば分からなくもないが、それぞれに幅があるので基準があるのかどうか。

○高田副会長：公益法人という視点で線引きした事業もある。

○神原 (目黒)：そうすると公益に相応しくない事業内容もあるならば、どの事業がそうなのか説明してもらえるのか。

○高田副会長：目黒支部については、12月9日時点で要望された額は281,000円であるが、「リバーサイドフェスティバル」と「役員会」を計上し、あとの部分はカットしたということである。

○佐藤組織部長：補足すると、目黒支部はほかに「スキントッチ教室事業」があり、杉並支部からも同事業経費が出されているが、その経費は支部活動予算ではなく青年女性部に別途計上している。

○葛田 (杉並)：杉並支部の予算も同じ理由と解釈してよろしいか。

○高田副会長：活動費はこれまでの5,000円を

- 3,000 円に減額しているのです、その分も減っている。
- 蔦田 (杉並)**：2 ページの支出予算で「青年女性部会 (女性)」と「青年女性部会 (青年)」とある違いは何か。
- 高田副会長**：先程も指摘されたが、事業計画が別になっているので予算案も別にしたのだが、分かりづらいので事業名を一緒にしたい。
- 蔦田 (杉並)**：今はまだ社団なのだから公益にこだわる必要はないのでは。
- 高田副会長**：昨年ブロックをまわった時にいただいた意見を踏まえ、改めて定款に「支部」を明記し、今年の5月の総会で承認をいただく予定である。ただ、来年度の予算をもとに公益社団の申請をすることになるので、審査を前提に予算上公益を出した形で進めていきたい。
- 黒河内 (武蔵野・三鷹)**：各事業の公益比率を出せば分かりやすいのではないかと。
- 増田 (三多摩東)**：支部予算の科目が空欄で比較ができないので次回からきちんと入れてほしい。また、支部予算が固まるときに事前に支部長に一報があると質問も用意しやすいのでお願いしたい。それから予算を申請するときに書類が多く煩雑であるので、もう少し簡略してほしい。
- 高田副会長**：ご要望をいろいろ頂いたので心がけていきたいと思う。
- 長岡 (練馬)**：会報1月号の議事抄録に芝田先生が「支部長の責務や権限を明記すべきだ」と発言しているが、公益法人の中の支部及び支部長の権限・位置づけはどうなっているのか、また会員や財源の減少に伴う各組織の整備が望まれるのではないかとということについて聞きたい。
- 高田副会長**：支部長の権限については定款に明記できないが、細則に載せることはできると思う。また会員の減少や財源の問題だが、新入会員の減少や会員の高齢化、経営の悪化など厳しい状況にあるのは事実だ。
- 関口 (荒川)**：会員の減少の問題だが、その歯止策はあるのか。
- 高田副会長**：予算が限られているが、専門学校卒業生で日鍼会賞・東鍼会賞を受けた学生について、学術部のセミナーや症例検、委託講習会などに無料で参加してもらうような働き掛けを行ったり、青年部では学生交流会を企画している。
- 田中 (文京)**：新宿支部の旅費交通費が飛び抜けて高くなっているのはどうしてか。
- 高田副会長**：東京マラソンの足がかりになったのが、新宿のシティマラソンである。会員のスキルアップの努力もあってようやく東京マラソンに3年前から参加できることになった。600人のランナーを施術するというになると、10人や20人ではどうにもならない。それで30人の旅費交通費が必要になってくる。さらに平成25年度には東京国体が開かれ、その準備会議に青木会長が委員になって東鍼会として積極的に関わっている状況にある。またシティマラソンに参加する鍼灸師は、新宿支部の会員だけではなく他の支部の会員、また会員外の先生も参加しているので、新宿支部だけを特別扱いにしているわけではない。
- 増田 (三多摩東)**：どこかが突出するとそういった疑問が出てくるので、大きな事業は今後本部主導でやっていけば問題にならないのではないかと。
- ## 2. 公益法人申請について
- ◇**伊集院副会長**：検討状況について説明。
- 蔦田 (杉並)**：申請時期はいつごろか決まっていないということか。

○高田副会長：改正定款をお示しして、5月の総会での承認後になると思う。

3. 「会員名簿2011」作成のお願い

◇佐藤組織部長：名簿作成にあたって会員情報の確認を依頼。

(関連して)

○土肥（豊島）：支部の括りがよくわからない。支部の会議ができない状況なので誰が支部長になるのか決められない。

○高田副会長：支部での総会費用を会として出すわけにはいかない。

○土肥（豊島）：支部の括りがよくわからない。支部総会をやっていないので支部長を決められないし、支部長は何をするのかわかっていない状態なので、名簿作成とか言われても困ってしまう。

○高田副会長：会として費用を出すことはできないことで支部長が決められないのであれば、それはしかたがないのではないかな。

○神原（目黒）：確か規約では「支部長については東鍼会から指名する」ということになっていたと思うが。

○高田副会長：支部で選出された方を東鍼会が指名するというで、こちらから指名することはしていない。

○神原（目黒）：目黒支部の場合は、目黒区鍼灸師会という団体の役員が横滑りで支部の役員になっている。支部長を決めることが難しいところもあると思うので、東鍼会で何らかの決め方を示したほうがよいのではないかな。

○高田副会長：そういったご意見を踏まえ、会の細則を決めるときに検討したい。

○土肥（豊島）：そのところを決めていただかないとおかしなことになると思う。支部をもとに戻すというのであれば、どういう形のものかをしっかり決めていただかないと動きづらい。本部で誰それにやってくださいということであれば、それで

もよろしいかと思う。

4. その他

○増田（三多摩東）：新年会は来年場所が変わるということだが、できればこの地元でやることを検討してもらいたい。

○長岡（練馬）：新年会にお金がかかる過ぎているのではないかな。震災ボランティアよりも新年会にかけると予算が多いので、もう少し縮小したほうがよいのではないかな。

○高田副会長：収支予算案にも示したが、例年110万円ぐらい計上していたのを今回80万円に押さえている。

○蔦田（杉並）：今後の支部制度について支部の会員に説明しようと思っているが、今度出される定款の文言等はどうなるのかな。

○高田副会長：定款には簡素な文言しか表記しないが、細則等では書くことになる。

○蔦田（杉並）：今は各支部に〇〇区鍼灸師会というのがあるが、公益になるとそれがどういう関係になるのかがわからない。

○高田副会長：公益社団法人をとったからといって変わらないので、関係は同じだと考えてもらって結構だ。

○土肥（豊島）：関係が同じというのがわからない。定款はともかくどういうイメージで支部をつくっていくのかを教えてほしい。

○高田副会長：われわれがお願いしていることは、公益性の観点から各支部であげてきた事業にもとづいて活動してほしいということである。それ以外の支部の懇親会とかの活動は本部からどうこう言えることではない。

○増田（三多摩東）：公益にかかる事業には予算は出せるが、支部総会とか独自の活動とかは受益者負担でやってほしいということなのだろうから、そこをはっきり言ったほうがよいのではないかな。公益法人制度に振り回されて行き違いが出てくるので、そこをはっきりさせたほうがよい。

○**薦田(杉並)**：この会は公益になることよりも会員のための活動、あるいは会に入ったら大丈夫そうだと感じられる雰囲気をつくってほしい。

○**土肥(豊島)**：一例報告だが、元会員で会の症例検討会にも出席し、宮城県の災害ボランティアにも参加した方がいる。そうすると会員との違いがわからなくなってしまう。

○**司会**：本日はいろいろご意見を伺ったが、それらを参考に東鍼灸が発展的に変わっていきけるように理事会で審議させていただく。

◎閉会の辞 佐藤組織部長

平成24年3月 理事会議事録

◎平成24年3月11日(日)10:05～11:45

◎場所：日本鍼灸会館2F会議室

◇出席者 17名

(副会長) 高田常雄、伊集院克

(常任理事) 岩元健朗、一ノ瀬宏、有馬太郎、佐藤直史、林久嗣、天野寛敏

(理事) 森野一巳、樋口陽一、呉仁隆、青木マリ、鹿野和彦、横山季史、枝亮、芝田武司、邊田幸藏

◇同席者 3名

浦山久昌(監事)、仲田欣司(監事)、山中事務局長

◎審議事項(議長代行 高田常雄副会長)

1. 入会等審査について

◇佐藤組織部長より入会希望者2名、退会申出者4名について説明。<承認>

2. 平成24年通常総会について

◇岩元総務部長より総会の次第について説明。<了承>

3. 会長選出及び理事の補充について

◇岩元総務部長より青木会長の死去に伴う新会長の選出及び林久嗣理事の退任(3

月31日付)による理事の欠員2名の補充選挙について説明。

○**岩元総務部長**：会長選出についてはどうするか。(高田先生という声あり)

○**岩元総務部長**：高田先生という声があったがよろしいか。(賛成の声多数)では、高田副会長を新会長に選出することにしたい。(拍手)

○**高田新会長**：ありがとうございます。会の運営は皆さんのお力がないとやっていけないので、今まで以上にご指導よろしくお願いたします。

○**岩元総務部長**：定款では副会長が2名となっている。高田副会長が新会長になると副会長が1名欠けるがどうするか。

○**森野共済部長**：岩元理事を副会長に推薦したい。

○**岩元総務部長**：ありがたいが辞退する。

○**呉文化部会長**：佐藤理事を推薦する。

○**伊集院副会長**：私も佐藤理事を推薦する。

○**高田議長代行**：佐藤理事でよろしいか。(賛成の声)

○**高田議長代行**：では佐藤理事を副会長に選任する。(拍手)

4. 平成24年度前期事業スケジュールについて
◇岩元総務部長より24年度前期の日程について諮る。

<5月の理事会、決算審査、文化部会懇親会等の日程を修正し了承>

◎報告事項

1. 都民公開講座の実施報告(アンケート結果の報告)

2. 保険審査結果報告

3. 各部報告

4. 事務局職員の採用報告

◇3月1日付採用：船木逸郎

平成 24 年通常（予算）総会 議事録

◎平成 24 年 3 月 11 日（日）13：00～13：40

◎場所：日本鍼灸会館 2 F 会議室

◇議案：

第一号議案 平成 24 年度事業計画案

第二号議案 平成 24 年度収支予算案

◇司会：岩元健朗（総務部長）

<黙祷>

午前中の理事会において、新会長に高田常雄理事（現副会長）、副会長に佐藤直史理事が選出されたので報告する。<拍手>

◇開会の辞 副会長 伊集院克

◇会長挨拶 会長 高田常雄

青木先生が亡くなられて残念だが、会は一日一日進んでいくし、今年は公益申請をなし遂げなければならない。今後一層会員の協力を得ながら会の運営に務めていく所存である。昨年決算総会で定款を変える承認を得たばかりだが、さらにこの 5 月の総会までに「支部」を明記した定款を用意したいと考えている。支部あつての東京都鍼灸師会だと思っているので、今後とも東鍼会の活動に対しご支援をよろしく願いたい。

◎司会：議長への選出についてどうか。

(司会者一任の声)

それでは、議長に中野支部の増田照雄先生に願いたい方がよろしいか。(拍手)
承認されたので、増田先生よろしく願いたい。

次に、議事録署名人及び記録者の選出についてどうか。(司会者一任の声)

では、議事録署名人は、江戸川支部の松浦正人先生と荒川支部の関口知次先生に願いたい方がよろしいか。(拍手)

なお、議事録記録者は事務局で行うことにしたい。

では、議事の進行を増田議長に願います。

【議事】

増田議長：議長に選出された中野支部の増田です。審議に先立って、現在会員数が 723 名、定足数が 362 名となっている。本日の出席者は 30 名、有効委任状が 385 名の合計 415 名であり、定款第 24 条により本日の総会は成立していることを報告する。

では、第一号議案の「平成 24 年度事業計画案」について、高田会長より説明をお願いしたい。

高田会長：(第一号議案 平成 24 年度事業計画案を資料により説明)

増田議長：説明が終わったのでこれから質疑に入る。発言の前に支部名と名前をお願いしたい。

関口知次(荒川)：6 ページの「組織部の事業」にある「入会勧誘」は具体的に何をするのか。

佐藤組織部長：各学校に会報を送付したり、青年女性部会で学生会員などに入会についての話をしたりすることが中心になる。

関口知次(荒川)：入会の勧誘だが、会員募集を呼びかけるチラシやポスターをつくって各専門学校や治療院に掲示などをお願いすることを提案をしたい。それと「会員証の発行準備」だが、どの程度すすんでいるのか。また会員証に IC チップを埋め込むようなことをせずに、顔写真を入れる程度の東鍼会会員であるということがわかる簡単なものでよいのではないかと。

佐藤組織部長：4 年前に一般社団法人から公益社団法人へ移行するという話のときに新しい会員証を提案させていただいたが、現在保留になっている。公益社団法人になった場合のパンフやポスターの予算は計上してあるが、会員証については 25 年度の予算に計上することになるのではないかと。

高田会長：現在、日鍼会で試行的につくって検討しているので、それを見てから判断したい。

荒井修(江戸川)：事業計画にある「社会的地

位向上」という言葉がしっくりこない。われわれはそんなに地位が低いのか、と思ってしまう。

高田会長：定款上そういう言葉になっているので、簡単に変えるわけにはいかない。

増田議長：ほかにご意見・ご質問はどうか。
.....

発言がないようなので採決に移る。第一号議案について、承認をいただける方は拍手をお願いしたい。(拍手)

拍手多数と認め、第一号議案は承認された。次に、第二号議案「平成24年度収支予算案」を一ノ瀬会計部長より説明をお願いします。

一ノ瀬会計部長：(第二号議案 平成24年度収支予算案を説明)

増田議長：説明が終わったので質疑に入る。

関口知次(荒川)：11ページの「管理費」に「公益法人協会会費」とあるが、まだ公益法人になっていないのに会費が計上してあるのはどういうことか。

高田会長：この協会は法人に関する様々な情報を提供する団体で、前から入っている団体の会費である。

山下豊仁(練馬)：機関誌発行事業についてだが、広告を取り入れて経費を節減するという考えはないのか。

高田会長：これから公益法人に向けて、広報のやり方を変えていく。広告を載せていい場合といけない場合を分けて考える必要が出てくるが、広告を取り入れて収入を補うことも検討していかなければならないと思っている。

増田議長：ほかに質問がないようなので、第二号議案を承認する方は拍手をお願いしたい。
(拍手)

拍手多数なので第二号議案は承認された。

司会：増田先生、どうもありがとうございます。

お手元に先日行われた都民公開講座のアン

ケート結果があると思うが、有馬学術部長より説明させていただく。

有馬学術部長：(アンケート調査結果について報告)

司会：ここで理事会からの報告をさせていただく。今月末で理事が2名欠員の見込みであるため、5月の決算総会で補充の選挙を行うことが決定した。日程について決まり次第、会員の皆様にお知らせするのでよろしくをお願いしたい。

◇閉会の辞 副会長 佐藤直史

副会長就任のご挨拶



副会長 佐藤直史

この6年間青木会長のもと組織部長として、学術、保険、鍼灸の普及、公益法人取得に向けて支部との交流や様々な問題を(社)東京都鍼灸師会の理事会を通して見てまいりました。

これからの(社)東京都鍼灸師会は、鍼灸師が鍼灸を普通に安心して行えるよう各医療師団体と交流し、鍼灸師の本質を訴えていけるよう精進してまいります。現在の鍼灸の社会的状況を考え、学術、保険、各支部の普及活動や講演活動の情報提供をしてまいります。それらを通してこれからの鍼灸師の先生方の育成を目指します。

高田会長、伊集院副会長、理事ならびに支部長と共に、(社)東京都鍼灸師会の事業を務めてまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

都民公開講座

「脳とこころ、からだの健康」



平成24年3月4日(日) 社団法人東京都鍼灸師会が主催し、渋谷駅ビルの渋谷エクセルホテル東急6F会場で『脳とこころ、からだの健康』と題して、都民公開講座が開催された。講師は、最近では上梓される本が必ずベストセラーになるという順天堂

大学大学院加齢制御医学 白澤卓二教授。当初予定した座席を急遽増やして対処した。参加者は鍼灸師はもちろんのこと、区の施設や郵便局のポスター・チラシ・新聞広告を見た方、当会員の治療院で知った方など200名が聴き入った。

白澤先生には2009年の日鍼会全国大会東京大会でもご講演をいただいたが、今回はさらに新しいデータや知見をご披露いただき、いつまでも元気で長生きするための秘訣を惜しげもなくご教授して下さった。



最高齢者：フランス 故ジャンヌ・カルマンさん「85歳でフェンシングを始めた。若い30歳代と同等に張りあったと想像できる。」と白澤教授弁。(1997年 122歳164日を記録)



高田新会長の挨拶



エクセルホテル東急6F会場



講演後のサイン会



受付スタッフ

アンケートや講演後の感想は「とても分かりやすかった」「食べる順番は野菜から」「健康につながるジュースを紹介している著書が良い」などであがった。白澤先生からは鍼灸の良い効果も強調していただき、来場者の3割は鍼灸未経験者であったため、鍼灸ファンを増やす良い機会ともなった。

学術部長 有馬太郎

学 術 部

鍼灸臨床セミナーからのご報告とお知らせ

第9回鍼灸臨床セミナーを4月5日(木)午後7時30分から日本鍼灸会館2階講堂において開催しました。

今回は「腰痛・坐骨神経痛」(全4回)の4回目となり、「腰痛・坐骨神経痛の治療の実際」を日本鍼灸師会臨床研講師の岩元 健朗氏(杉並支部)、挽野 順子氏(北支部)にご担当頂きました。



模擬患者を想定し、問診・検査から得られる所見からどのような病態が考えられるかを、受講者の声も交え考えていくという形式で行い、そして講師が普段行っている治療を披露しました。多くの参加者から素朴な疑問、より専門的な質問をいただき、盛況のうちに今シリーズが終了しました。また今回の4回シリーズを全回出席された方々へ、高田 常雄東京都鍼灸師会会長より皆勤の表彰状が贈られました。



次回の臨床セミナーは5月10日(木)で、膝痛全3回シリーズが始まります。5月以外はすべて第一木曜日で、内容予定は、5/10(問診・検査法実技①)、6/7(検査法実技②、病態)、7/3最終回は(膝痛の問診から治療までの模擬実技)です。

当セミナーは徒手検査法を正しく理解し鑑別能力を高めることを目的としております。高い鑑別能力は患者さまへの信頼につながります。経験の浅い方は正確な手技の獲得や臨床のヒント探しに、ベテランの方は臨床能力の再確認などにご利用頂ければと考えております。

参加費は500円で第1木曜日午後7時30分から9時。日本鍼灸会館2階講堂で行っております。どうぞお気軽にご参加ください。1疾患につき3ヵ月を1クール全3回としています。途中回から参加も大歓迎です。開催疾患については当会のHPでスケジュールをご確認ください。

症例検討会からのご報告とお知らせ

(1) 2月開催症例検討会

2月23日(木)午後7時30分から日本鍼灸会館2階講堂に於いて2月の症例検討会を開催いたしました。座長は加島 郁雄氏(千代田支部)にご担当頂き、「ベテラン経理の大後頭神経痛」と題し有馬 太郎氏(品川支部)に、「漁をして発症した石灰沈着性腱板炎」と題し元吉 正幸氏(豊島支部)に症例を発表して頂きました。また臨床のコツは、浦山 久昌氏(大田支部)に「眼瞼接触鍼」の治療実技を披露して頂きました。



有馬氏の報告は、30年以上経理をしてきた男性の、12年間悩まされてきた時々発症する大後頭神経痛に対する治療報告でした。昔そばんを使っていたことによる頸椎への負担や、職業柄ストレスを感じやすい環境などが発症の誘引となったと推察し、深部後頭下筋群に対する鍼灸治療で、計4回の治療で日常生活に支障をきたさない程度まで症状を抑えることができたという報告でした。

元吉氏の報告は、夫婦で漁をしている60歳の女性が、年末に普段はしない魚箱の荷降ろしを長時間行った結果、次の日から左肩に激しい痛みが発症した症例でした。症状や所見から石灰沈着性腱板炎と診断し、10日間、8回の治療で緩解を認めました。普段元気で治療そのものが初体験の方であったため、強い不安感を表していましたが、上手に不安を解消しつつ丁寧な説明で継続的な治療を行えた結果、患者の満足のいく結果を得られたという報告でした。

臨床のコツは、浦山氏による「眼瞼接触鍼」という手技を披露していただきました。この手技は以前に氏の友人が開発し、毫鍼を輪状に変形させた物で上下の眼瞼の外縁を軽くこするというものでした。花粉症、ドライアイなど多くの眼症状を呈する疾患に効果的ということで、デモを受けたモデルさんも、「今まで感じたことのない感覚だが、すごくすっきりした」とう感想を述べていました。

(2) 3月開催症例検討会

3月の症例検討は、24日(木)午後7時30分から同会館に於いて行われました。座長は南上亮氏(渋谷支部)にご担当いただき、「バス旅行で発症した腰椎椎間関節捻挫」と題し、藺田康敬氏(港支部)に、「肺炎後残存した咳への鍼灸治療」と題し、加島郁雄氏(千代田支部)に症例報告をしていただきました。また臨床の

コツは、有馬太郎氏(品川支部)に「大後頭神経痛」の治療実技を披露していただきました。



藺田氏の報告は、尾瀬への長時間のバス旅行直後に腰痛を発症した40歳女性の症例でした。所見から腰椎椎間関節捻挫と診断し、経絡治療にて8日間2回の治療で治癒したものでした。椎間関節の捻挫と判断すべきかどうか議論が集中しましたが、椎間関節の炎症であるという見立ては間違っていなかったため、早期の治療を得られた症例でした。

加島氏の報告は、毎年寒さで風邪をひくのが習慣化してしまっている58歳女性が、1ヶ月前にひいた風邪をいつもの風邪だと思いこじらせてしまい、発症からしばらくしてから行った病院では「肺炎が治りかけている」と言われ、現在他の風邪症状はなくなってきても長く残存している咳を訴えて来院したという症例でした。氏は、患者が病院で言われたという肺炎後のレントゲン所見があることから、異型肺炎の大部分を占めるマイコプラズマ肺炎と診断し治療を行い10日間5回の治療で緩解したというものでした。治療は主に背部や胸部の反応点へ施術し、今後も風邪のひき初めには尺沢へのカマヤミニ灸を指導されたとのことでした。

臨床のコツは有馬氏による大後頭神経痛治療の刺鍼実技で、大後頭神経への傍神経刺及び後頭下筋群の触診法と刺入法を披露いたしました。



今回の症例検討会は5月24日(木)午後7時30分から、座長を滝上晴祥氏(大田支部)にご担当いただき、症例を平田 朋子氏(山形県鍼灸師会)、小池 英義氏(渋谷支部)にご発表頂きます。演題と臨床のコツの演者は東京都鍼灸師会のホームページから確認いただけます。学術部の行事日程もアップしておりますので、併せて宜しくお願いたします。症例報告は貴重な臨床体験です。体験から多くのことを学ぶことが出来ます。皆様のご参加をお待ちしております。

東京都福祉保健局委託学術研修会(後期)開催

平成23年度第43回東京都福祉保健局委託学術研修会(後期)を3月25日(日)午後1時より日本鍼灸会館において開催致しました。



はじめの講演は、「頸椎変性疾患の病態と診断・治療」と題して、埼玉医科大学病院整形外科 飯塚 秀樹先生にご講演をしていただきました。まず整形外科で頻繁に診療される、いくつかの主な頸椎変性疾患の症状と鑑別法を挙げていただきました。鍼灸で日常遭遇する疾患と重なる部分はあっても、殆どがより重症化した状態を病院で診ることが多いため

か、より診療上重要な生の情報が得られる内容でした。また先生のご配慮から、質問の時間を多く設定していただきました。普段整形外科の医師とじっくり話す機会がないことから、会場からは多くの質問が上がり、より専門的に踏み込んだ内容の熱のこもった質疑応答が行われました。

2つ目の演目は「症例報告に学ぶ」と題し症例検討会を行いました。内容は、作年度中に行われた症例検討会発表症例のうち、より興味深いものをピックアップし再度症例検方式で発表をするというものでした。この企画は昨年から行われているもので、ウィークデー(第4木曜19時30分~)に行われている症例検討会に参加できない方のために再度行おうと意図したものです。

症例発表：①『上眼瞼挙筋(動顔神経)パルス(東大式)を追試したベル麻痺後遺症の顔瞼下垂』 紺野 康代氏(世田谷)

②『心サルコイドーシス、骨粗鬆症による腰背部痛の灸・臨床動作法』元吉 正幸氏(豊島)

臨床実技：③『鍼灸による逆子の体位矯正』岩元 健朗氏(杉並)の3題でした。

慣れないせいか、いつもの木曜症例検のように会場から多くの質問は上がりにくかったようでしたが、他人の症例報告をじっくり聞き、共に治療や経過を考えることは生の臨床体験をすることと同じである、ということをより多くの方が理解していただけたと思います。定例症例検の演題予告はホームページに常にご案内しておりますので、ぜひ第4木曜夜にもご参加いただけますよう、学術部運営委員一同お待ち申し上げます。

学術部長 有馬 太郎

青木前会長に「正六位」が授与されます！

2月に逝去された 青木正雄 前会長におかれましては、永年の功績が認められ「正六位」に叙されることが内閣で決定いたしました。
謹んでここにお知らせ申し上げます。

保 険 部

H24年度前期講習会について

7月7日（土）に前期保険取扱者講習会を予定しておりましたが、日鍼会保険部長会議が7月10日に行われることとなり、その結果をふまえて講習会を開催したいと思いますので、日時が決定次第あらためてお知らせいたします。

お知らせ

4月初旬に、ある保険者との話し合いにおいて、注意をいただきましたのでお知らせします。

施術日等の間違いがみられるが、本来患者さんの印は申請書を患者さんが確認して押すわけですので、施術日の間違いは滅多には起こらないはずです。

しかしこのところ施術日の間違いが多々見られます。

個々の施術者の問題であると同時に東鍼会の方針並びに指導・講習の姿勢を問われることとなります。

申請書提出前の点検と患者さんへの確認を怠らないように、充分にご注意いただきたいと思えます。

保険を取り扱われている方は年2回開催される講習会へは必ずご出席下さい。保険申請書作成担当の事務の方も参加可能です。

最新の情報はまずホームページで確認をお願いいたします。

保険部

介 護 予 防 委 員 会

筋力アップ教室

豊島区受託事業「筋力アップ教室」同窓会を3月14日（水）に開催いたしました。

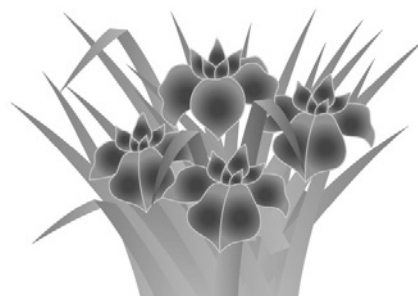
この同窓会とは --- 過去に実施した「筋力アップ教室」に参加され、14回コースを修了された方々を対象に東京都鍼灸師会独自のプログラムとして昨年開始されているものです。今回は32名の方にお集まりいただきました。

はじめの30分間は、参加者を4グループに分け、スタッフ1名が進行役として参加し「筋力アップ運動は続けられているか？」をテーマに話し合いました。

およそ9割の方が何らかの運動をされていますが5種類の筋力アップ運動を完全に継続されている方は1割程度でした。

その理由として「正しい運動方法を忘れた」「手抜きをしまっている」「一人ではやる気が起きない」「面倒くさい」などが多かったのです。

また「定期的に集合して運動をしたい」「できればこの場所：鍼灸会館で」という声がありました。筋力アップ運動の必要性は参加者全員が共有していました。



次に、筋力アップを目指す筋肉部位・運動の目的（メリット）、運動のポイント（姿勢・呼吸・リズム）運動の方法、運動の注意点を説明しながら約60分間の運動を行いました。筋力アップを目的とする筋肉は ①内側広筋 ②腸腰筋 ③菱形筋 ④中臀筋 ⑤大腿四頭筋です。この5種類の運動により、バランスが取れて「転ばない・大股でしっかり歩ける・全身の筋力アップの向上」が図れます。運動復習後は正しく運動すると「違いが分かる」という方が多かったです。ぜひ継続していただきたいと思います。

また同窓会とは異なりますが、平成23年度の2回にわたる筋力アップ教室の参加者36名に対し、この教室活動全体について・運動プログラムについてなど13項目のアンケートをいただいています。評価は5段階方式で

- ① 全くそう思わない
- ② 少しそう思う
- ③ まあそう思う
- ④ かなりそう思う
- ⑤ 非常にそう思う

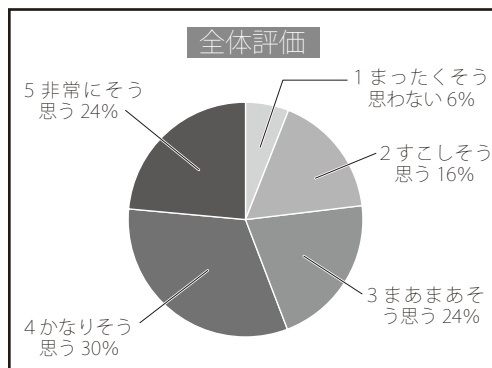
{全体評価として}

54%「かなり満足」

40%「満足」という高評価を頂きました。

次回の筋力アップ教室は、前期4月11日(水)の教室体験会を皮切りに5月9日(水)から8月22日(水)、後期9月26日の体験会、10月24日(水)から平成25年2月6日までの10時～11時30分までの予定で開催されます。またフォローアップ教室は2か月後に3回行われます。筋力アップ教室に興味をお持ちの方、参加したい方、見学したい方・・・お気軽に事務局までお問い合わせください。

皆様の参加をお待ちしております。



アンケート項目

1、この教室全体の活動について

- ① この教室に参加して楽しかった。
- ② この教室はあなたの介護予防に効果があった。
- ③ この教室に参加したことで生活習慣が変わった。
- ④ 今後もトレーニングや学習を継続したい。
- ⑤ この教室に参加する前と比べて体の調子が良くなった。
- ⑥ この教室に参加する前と比べて気分が前向きになった。
- ⑦ この教室で友だちができた。

2、運動プログラムについて

- ① トレーニングは体力的に大変だった。
- ② 参加する前と比べて体の痛みに変化があった。
- ③ 参加する前と比べて体力がついた。
- ④ 参加する前と比べてお口のことに興味を持てるようになった。
- ⑤ 参加する前と比べて食事のことに興味を持てるようになった。
- ⑥ 介護予防や健康づくりに関心が持てた。

*ほとんどの参加者が「筋力アップ教室・運動プログラムに満足している」という結果でした。

介護予防委員会委員 武内 潔

青年女性部会

総会開催のお知らせ

日時：5月13日(日) 10時～12時

場所：日鍼会館2階講堂

詳細はハガキでお知らせします

青年女性部主催「治療院見学会」のお知らせ

日時：6月3日(日) 10:30～12:30

場所：セラピーサーナ

講師：永井 奈津子 先生

ホームページ：<http://therapy-sana.jp/>

※ 13:00～14:30 懇親会を予定しています

青年女性部会長 横山 季史

支部だより

武蔵野桜まつり

昨年は震災により中止となり1年ぶりの祭りに3万人の人出となりました。市からの要請をうけ武蔵野三鷹支部も15回目の参加。健康相談・パンフ・会員名簿・サンプル配布を行い、体験コーナーでは、灸及び皮内鍼を用いて病状によりツボを的確に取穴し在宅でも自分でも行える簡単な治療方法を情報提供致しました。現在の社会情勢を反映してか、不定愁訴・気分の抑うつ・肩首頭の凝り重さ・腰・膝など様々な疾患の相談を受けました。鍼灸に対する関心は多くの皆さんが持っておられましたので、今後の受診に結びつく様、一人一人の市民の皆様に丁寧に対応致しました。

前日本鍼灸師会会長の相馬先生にもお越し頂き6名の支部会員が対応、有用な公益活動が出来ました。

武蔵野三鷹支部 黒河内 和明

東京マラソン 特集

「ランツボ・はりケアステーション」活動報告

平成24年2月26日 朝9時に号砲が発せられた。私たちは午前10時にビックサイトに集合。目じるしは「逆さまピラミッド。」ぞくぞくと集まった。一番初めの方は「リタイアした女性の二人組。」「お疲れさまでした!!」と、皆で声を掛けた。



ビックサイト（逆さまピラミッド）集合場所



IDカードで
ビックサイト内部へ

足湯ブース



救護所

手術対応救急車も待機



藤原が40.0km地点から4位→2位でゴール!!
よく頑張った!! 観客から拍手喝采!!



スポンサー



月桂冠をかぶり記念撮影



ごった返す 待合



金子講師のアイシング



接骨師会：受付表示



東鍼会：受付表示



足のつらさが多かった



疲れて…。寒くて



奥の4台（合計12台）真中の8台



笑顔の受付



休憩室



待合（イス50脚）



開始前の確認



アイシング準備



奥の施術



真中の施術

みんなで「おそろい」の「オレンジ」が目立っていた。全員が、はつらつとした応対や施術を提供していた。それぞれが「やった!!」という充実感。大事なところに立ち会いました。

{以下、その手順}

1. 受付でカルテを記入（つらいところを○印）
 2. 待合で座って待つ（ピーク時は20分間）
 3. 受入れ準備OKで、施術グループが手をあげる
 4. 受付が案内する
 5. つらいところを確認して施術する
 6. 施術した処方箋と注意事項を説明する
 7. 施術についてのアンケートを記入してもらう
- 20分間隔で診察ベットを交代。
40分に1回の休憩。大変お疲れさまでした!!
(納会のビールが旨かった!!)

以上 広報部

東鍼会事業：ボランティア参加への御礼

今年の東京マラソンボランティア「ランツポ・はりケアステーション」の活動はフルマラソンのゴール地点・東京ビックサイトで行ないました。過去2回の10キロ部門での活動実績が認められ、今回フルマラソンのゴール地点で施術することとなりました。

初参加からご尽力をいただいた小松秀人 日本鍼灸師会副会長のお蔭であることをご報告させていただきます。

今回はベッド12床と前回より規模の拡大に伴い、会員・一般鍼灸師・学生の総勢60名でボランティアチームを組むこととなり、なかでも現場のリーダーとして指揮していただいた新宿支部の井坂支部長、申副支部長を中心とする新宿シティーハーフマラソンでボランティア活動をされた皆様から積極的な参加協力をいただきました。

スタッフ全員が活動内容を理解し協調して活動を行なったことで、ご利用いただいたランナーからご好評をいただき無事に活動を終えることができました。鍼灸師の特徴を活かしたボランティア活動はとても有意義なものとなり、お蔭様で素晴らしい活動となりました。

心より感謝を申し上げます。

これからも鍼灸を志す皆様とともにボランティア活動を継続して参ります。どうぞご協力・ご参加の程、よろしくお願い申し上げます。

東京マラソンボランティア担当

総務部長 岩元 健朗

東京マラソン・ボランティアに参加して

36000人余りのランナーが走って来て、一方数十名の鍼灸師が集まり、限られたベッド空間と時間的制約が数分という中で、パイオネックスを貼るケアボランティアですが、鍼灸師としてそれぞれの日常臨床を基に、ランナーの主訴に対して、圧痛・硬結を適確に探り当て、そして全身調整まで影響を及ぼすような施術をはじめ、養生法までもうまく説明をしている人たちでした。そんな仲間のランナーとの向き合い方を観ていると、事前の研修を受けた東鍼会の組織ぶりを垣間見ることができました。ランナーたちはまた来年走りますと笑顔を見せて立ち去って行きました。

豊島支部 一ノ瀬 宏

東京マラソン当日。『私達も自分達のゴールに向かって頑張ろう！』という井坂先生の言葉で始まった「ランツポ・はりケアステーション。」私のようなまだまだ若手の鍼灸師から臨床歴何十年のベテラン鍼灸師の皆さん。そして学生さんの応援も得て総勢60名がそれぞれの持ち場で力を合わせた。まさに総力戦でした。

「鍼治療は初めてなんです。」と言いながら待合ブースに並んで治療を受けてくださった沢山のランナーに、需要の高さを感じました。これを機に、鍼灸院の扉を叩く方が増え、鍼灸への理解が一層高まるように願っています。貴重な機会を作って下さった運営スタッフの皆様には感謝致します。

鍼灸師（一般参加） 馬場夢芽子

42.195km、その距離の中で「挑戦」をして帰ってきたランナーの方々たくさん対話できました。そして、ランナーの持つ悩みに対して「鍼灸」は有効であり、需要も多いということを感じることができました。参加された先生方の熱意、治療家としての底力の一片を拝見できた今

回の「ランツポ・ケアステーション」は、学生である私にとっても貴重な経験となりました。

日本柔整鍼灸専門学校鍼灸科1年 尾櫃元

目指せ！ 東京マラソントピック

インターネットサイト「mixi」に「目指せ！東京マラソン」コミュニティ（登録者13858名。うち走者約500名）でアンケートを取りました。

「鍼ボランティア（小さなシールの鍼）を受けた方に感想をききたい！」と題したところ、4名の受療者の方から返事がきました。

ご報告いたします。（返信順に記載）

ランナーの皆さま、昨日はお疲れさまでした！私は東京ピックサイトで鍼ボランティアに参加していました。ブース全体で500名位のランナーの方々の足腰に「シールの鍼」を貼らせていただき、その場のアンケートではとても評判が良かったです。もし、このシールの鍼のボランティアを受けた方は、その後の感想を聞かせて欲しいのです！

鍼には「その後の効果」というものもあるので、是非それを知りたいのです。

- ・痛みがとれた 増えた
- ・翌日の筋肉痛が少なかった 変わらなかった
- ・また受けたい そうでもない
- ・シールはがし忘れた！ 消毒し忘れた！
- ・よく効いた よく分からなかった

など、なんでも良いです(*^▽^*)教えてください。

{返事① Rさん・男性}

いっぱいですと受付のオジサンに冷たく断られました(。_-。) やってもらいたかった(T.T)

{Rさんへ}

ええっ？！そんなことがあったのですか

(>_<) ゴメンナサイ！ごめんなさい！！

スタッフも施術者も、一人でも多くのランナーの方に受けていただきたい気持ちでしたのでよ(/_;) こちらも残念です。ちらっと話を振って確認してみますね。もしかしたら、一時、とても混んだので、疲れているランナーの方をあまりお待たせしてはいけないと思ったのかもしれません。真相は解りませんが・・・。受けたかったと言っていたら、どうもありがとうございました！！

直後のアンケートや、自分も施術を担当していて、なかなか良いケアになっているのではないかと考えています。

これに懲りずに、またどこかの大会で遭遇しましたら鍼体験を受けてくださいm(__)m お待ちしております。

{返事② Sさん・女性}

スタッフさんが優しくて癒されました、(・▽・)ノ

{Sさんへ}

そう言っただけで、とても嬉しいです(*^_^*) ボランティアのメンバーは全員、治療師、もしくは、治療師を目指している方なので、優しさにあふれていると思います。くわえて、研修でも「長距離を走って来たランナーの方に、まず祝福と、思いやりの言葉を」と、労りの気持ちを伝える事を教わりました。もしよかったですら、鍼の効果の方も、なにかお気づきがありましたら、教えてくださいm(__)m

{返事③ Uさん・女性}

ホントに助かりました。ゴールした後、一步踏み出すのがやっとなで、帰れるのか！？と不安でした。もみほぐされる時は悲鳴をあげるぐらい痛かったですが、やってもらった後は屈伸もできるくらい♪ 鍼も良かったです。ありがとうございました(^o^)

{Uさんへ}

ありがとうございます！お役に立ててうれしいです。(*^ー^*) 40Km以上走った後に、帰路のことを考えると、こういったケアのボランティアがあったらとても良いのでは？ と思って活動しています。

{返事④ Pさん・男性}

13時前にしてもらったので空いてました。鍼灸治療は日頃からしてるので効果はあるのを分かってますが、直後に効いたか聞かれても困ってしまいます。2日経って想定よりも疲労が少ないのは、レース直後の鍼のおかげかなあって思っています。

ありがとうございました。

{Pさんへ}

こちらこそ、鍼を受けてくださって、ありがとうございます！ そうですね。疲労に対する直後効果は「どうですか？」と聞かれても、なんとも答えられないですよ。局所に痛みのある人の場合は即効性が発揮される鍼なのですが… ついつい満足度を確かめたくてしまうのです(〜〜) 本当は、このように「その後効果」が大事なのです。貴重な報告をありがとうございます。m(_ _)m

みなさま、貴重なご感想をありがとうございましたm(_ _)m

もし、まだ感想があったら、教えてください。

2/27日～3/26日 18:00 までの記録

新宿支部 二階堂貴子

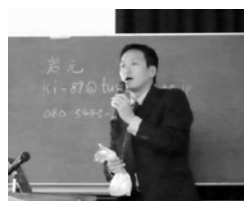


マラソンボランティア研修会

平成24年2月15日(水) 日本鍼灸会館にて「ボランティア研修会」が開催された。講師はマラソン・トライアスロンの経験がある呉竹学園：金子泰久講師。詳細についての指導・注意事項は新宿支部 井坂氏・申氏・理事の枝氏。当会は3回目のボランティア参加で、今回からゴール地点(東京ビックサイト)での活動が認められた。研修会終了後に「よ〜!! シャン!」と結団式を済ませ、全員に「修了証」が手渡された。



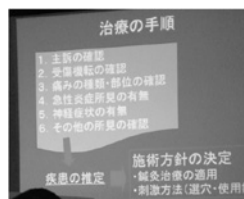
熱心に聞き入る研修会参加者



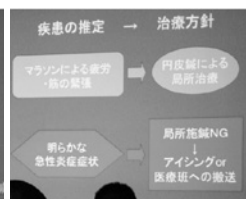
金子泰久講師



マラソン完走時間の分布



治療の手順



治療方針



新宿支部の指導



岩元氏による修了証説明

「一鍼たすけ」

厚生部

WHO/WPRO 標準経穴部位

訃報

{質問}

昨年8月のことですが、ある新設鍼灸学校の学生と私とは「天柱の取穴」に違いがあることが判明しました。その理由をお教え下さい。

58歳会員

{回答}

現在、鍼灸学校で教える経穴は世界的に統一された「WHO/WPRO 標準経穴部位」に準拠しています。昔の教育では「後頭部髪際にして、瘧門穴の傍、僧帽筋腱の外側に取る」と習っていると思います。

瘧門穴分界項線（後頭骨下縁）上にあることから分界項線上と言います。後頭部髪際と分界項線が一致すれば問題ないのですが、20年以上前に日本経穴委員会が実測調査したところ、後頭部髪際と分界項線は一致しませんでした。したがって、分界項線上にある僧帽筋腱外側の「天柱A」と後頭部髪際の僧帽筋腱外側の「天柱B」の異なる部位の天柱があるのです。

日本経穴委員会は平成元年、医歯薬出版社発行の「標準経穴学」を発刊しました。その中で、後頭部髪際は不安定で個人差が甚だしいため、この基準を削除し、分界項線上の「天柱A」を正しい天柱と決めました。しかし、鍼灸学校教育の経穴の教科書には、つい2年前まで、後頭部髪際と記載されていたため、2つの天柱が存在しました。現在の教科書は、日本経穴委員会も参加して、世界的に統一された「WHO/WPRO 標準経穴部位」に準拠しています。もちろん、表現は違いますが、分界項線上の天柱となっています。

元日本経穴委員会委員 浦山久昌

2月23日 林久嗣氏 ご令室 70歳（練馬）
2月23日 青木正雄氏 61歳（大田）

正副会長日誌



{2月}

1日 豊島区「筋力アップ教室」(高)
2日 第22回公益申請委員会(高・伊)
5日 都委託講習会(中期)高
8日 理事会
15日 東京マラソン事前研修(高・伊)
18日 北支部新年会(高)
19日 事務職員面接(高)
23日 症例検討会(高)
25日 青木正雄会長お通夜(高)
林久嗣先生奥様お通夜(高)
26日 東京マラソン(伊)
29日 支部長会

{3月}

4日 都民公開講座(高・伊)
8日 日本医学柔整鍼灸専門学校卒業式(高)
9日 日本健康医療専門学校卒業式(伊)
10日 了徳寺学園医療専門学校卒業式(伊)
11日 理事会・予算総会
14日 人間総合科学大学鍼灸医療専門学校(伊)
16日 東京医療専門学校卒業式(高)
東京衛生学園専門学校卒業式(伊)
20日 東洋鍼灸専門学校卒業式(高)
国際鍼灸専門学校卒業式(伊)
24日 第27回経絡治療学会(高)
25日 都委託講習会(後期)(高)

特別企画「神経内科と鍼灸医療の邂逅」 ご参加の御願いです！

神経学会にご登録頂き、学会場で、全国の神経内科医と沢山の御縁を結んで下さい！！

お問合せは、慶應神経内科 鳥海（練馬支部）まで御願います。

電話：03-5926-4227 e-mail：himawari@gw1.u-netsurf.ne.jp

第53回日本神経学会学術大会において

シンポジウム「神経内科診療における鍼灸活用の可能性を探る」が開催されます！

「神経内科と鍼灸医療の邂逅」

本年、第53回日本神経学会学術大会において、「神経内科診療における鍼灸活用の可能性を探る」とするシンポジウムが企画されました。鍼灸は「薬剤に拠らない医療技術」として注目されています。この機会に、診療ツールとしての「鍼灸」を真正面から考えてみましょう。日本神経学会学術大会に御登録下さった先生方には、会期中、学術大会のイベントに加え、下記の公開シンポジウムに自由に御参加頂けます。若葉も萌える初夏の夕べ、鍼灸医療の将来像を考える貴重な4日間を共有いたしましょう！

特定非営利活動法人 日本臨床研究研修機構 理事長 藤井仲康

第53回 日本神経学会学術大会 「神経内科から発する新たなベクトル —ニューロンから社会医学まで—」

2012年5月22日(火)～5月25日(金)

大会長：慶應義塾大学医学部神経内科
鈴木 則宏 教授

会場：東京国際フォーラム
東京都千代田区丸の内3丁目5番1号
JR「有楽町」駅下車 徒歩1分

事前登録は以下のHPから御願致します。
<http://www2.convention.co.jp/neuro2012/>

事前登録

医師 15,000円 鍼灸師 10,000円
鍼灸師（5月25日1日のみ参加）3,000円
コメディカル（看護師・PTなど）3,000円

- 医学部生・初期臨床研修医・鍼灸学生は、登録料は無料です。鍼灸学生は受付時、学生証のコピーを提出して下さい。
- 「鍼灸師証明書」を記入の上、御持参下さい。証明書は学会HPよりダウンロードできます。

■ 5月25日(金) 13:30～15:30

シンポジウム「神経内科診療における鍼灸活用の可能性を探る—神経科学を背景とした医療技術として鍼灸を捉える—」

会場：第4会場ホール B7-2 7Fシアター (600席)

座長：荒木信夫先生(埼玉医科大学神経内科教授)

演者：■ 山口 智先生(埼玉医科大学東洋医学センター 講師)

■ 柏谷 大智先生(東京大学附属病院リハビリテーション部 鍼灸部門主任)

■ 伊藤 和憲先生(明治国際医療大学鍼灸学部 准教授)

■ 鳥海 春樹先生(慶應義塾大学医学部神経内科 特任助教)

■ 間中 信也先生(医療法人社団 温知会 間中病院 院長)

当日登録

医師 18,000円 鍼灸師 12,000円
鍼灸師（5月25日1日のみ参加）5,000円
コメディカル（看護師・PTなど）5,000円

公開シンポジウム「鍼灸医療の将来像を語る」

主催：特定非営利活動法人 日本臨床研究研修機構

共催：(社)東京都鍼灸師会 (社)老人病研究会

SDPAネットワーク

後援：(株)セイリン

会場：慶應義塾大学三田キャンパス 北棟ホール (300席)
東京都港区三田2丁目15番地45号 JR「田町」駅下車 徒歩8分

■ 5月23日(水) 18:30～20:30

公開シンポジウム①「鍼灸医療の将来像」

ご挨拶：鈴木 則宏先生(慶應義塾大学医学部神経内科教授
第53回日本神経学会学術大会大会長)

座長：仲野 弥和先生(公益社団法人 日本鍼灸師会 会長)

演者：■ 天野 寛敏先生(SDPAネットワーク代表)

「社会問題となる認知症患者の推移/予防としての鍼灸医療」

■ 川並 汪一先生(社団法人 老人病研究会 会長)

「高齢社会における鍼灸師の役割/認知症 Gold-QPD 育成講座」

■ 植松 大輔先生(慶應義塾大学医学部神経内科 非常勤講師)

「統合医療の将来像と鍼灸」

参加費 一般 1,000円, 鍼灸学生無料

*第53回日本神経学会学術大会にご参加の先生方は、
学術大会参加証のご提示で入場いただけます。

■ 5月24日(木) 18:30～20:30

公開シンポジウム②「地域社会における鍼灸医療活用」

ご挨拶：菅原 一秀先生(衆議院議員
議員連盟「鍼灸マッサージを考える会」 議連事務局長)

座長：荒井 修先生(江戸川区鍼灸師会 会長)

藤井 仲康先生(練馬区鍼灸師会 会長)

特定非営利活動法人 日本臨床研究研修機構 理事長)

演者：■ 林 健太郎先生(東日本大震災支援プロジェクト(PCAT) 専任コーディネータ 国境無き医師団 派遣医師)

「被災地医療支援における鍼灸医療活用の実際」

■ 皆川 宗徳先生(東洋医学研究所)

「鍼灸医療の担い手：鍼灸医師への道のり」

(お問合せ) 特定非営利活動法人 日本臨床研究研修機構 (事務局：練馬区鍼灸師会内)
TEL：03-5926-4227 FAX：03-5926-4229 e-mail：himawari@gw1.u-netsurf.ne.jp

お気軽に
お問い合わせください！

第720回 日本鍼灸師会学術講習会

【東京会場日本鍼灸会館】6月24日(日)13:00～16:15

- プライマリ・ケア 【共通】 「免疫の最新事情」(仮題)
 東海大学名誉教授 元日本免疫学会会長 垣生 園子
- 鍼灸治療編 【共通】 「患者の満足度を高めるにはどうしたらよいか」
 一医道の日本誌業態アンケートで明らかになった事実を中心に—
 東京衛生学園 臨床教育専攻科 小川 卓良

第721回 日本鍼灸師会学術講習会 共催：東京都鍼灸師会

【東京会場日本鍼灸会館】7月22日(日)13:00～16:15

- スポーツ医学 【スポーツ専門】「東京マラソンにおけるメディカルスタッフについて」
 一東京マラソンの医療体制の中心概念—
 東京マラソン財団理事 医療救護委員長 山澤 文裕
- 鍼灸治療編 【共通】 「スポーツ障害と鍼灸治療」
 一姿勢・動作分析を活用した臨床へのアプローチ—
 (公社)日本鍼灸師会 副会長 小松 秀人

会場：日本鍼灸会館 2階講堂 (豊島区南大塚3-44-14)

受講料： 会員・学生 3,000円 一般 3,500円

ホームページアドレス：<http://www.harikyu-tokyo.or.jp/>

事務局の業務時間：午前9時から午後5時まで。土曜日・日曜日・祝日は休業いたします。

編集室

ニュース・トピックス

一心たすけ

一鍼たすけ

掲載を始めました。

氏

トピックス — 身近な出来事・みなさまにお知らせしたいこと・ためになる事柄など。

一心たすけ — 鍼灸の臨床にかかわること。(次代を担う鍼灸師・新入会者のためにも)

一鍼たすけ — 鍼灸の治療法・特効穴など。(//)

鍼灸の歴史は長く、ベテラン・中堅の臨床家にはそれぞれ数十年の素晴らしい経験則があります。一般の方に鍼灸の効果をアピールするためにも次代を担う方々に正しく継承するためにも。みなさまのご感想を頂けましたらより精度が上がります。投稿を募集しています。どうぞよろしく願いいたします(匿名・イニシャルなど可) 不明な点は広報まで

* 編集委員の顔ぶれが代わりました。長島氏は更なる資格取得のため3月で退任。豊田・二階堂氏(美大出身 イラスト担当)が加わりました。待合室に置く「公益性冊子」と「報告・お知らせ」2冊になります。ご期待あれ!

発行者： 社団法人 **東京都鍼灸師会** 会長 高田 常雄

〒170-0005 豊島区南大塚3-44-14 日本鍼灸会館内

電話 3985-7501 FAX. 3985-7526

メールアドレス info@harikyu-tokyo.or.jp

《広報部長》

天野寛敏

《編集委員》

鳥海春樹(練馬) 豊田和宏(足立) 二階堂貴子(新宿)

足立区千住中居町 8-12

〒120-0035 TEL・FAX.3881-8251

7月号の原稿締切:5/末日 発行予定:7/10